



JALグループは民族共生象徴空間「ウポポイ」開設を応援します **～ 第1弾はHACで特別塗装機を就航 ～**

2019年10月4日

第 19006 号

JALは、2015年12月に北海道と包括連携協定を締結したことに加えて、2019年9月に北海道エアシステム（以下、HAC）とともに、北海道を愛し応援する企業や団体が集う「ほっかいどう応援団会議」にも参加し、JALグループ一体となって、北海道の「文化」の振興に関する取り組みを実施しています。

このたび、JALとHACは、アイヌ文化の創造発展や地域創生を図ることを目的とした「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」の一員として、2020年4月24日に北海道白老町（しらおいちょう）に誕生する「ウポポイ（民族共生象徴空間）」（以下、ウポポイ）開設に向けてさまざまな取り組みを行い、アイヌ文化振興に寄与するとともに、来場目標100万人の達成に貢献してまいります。

その第1弾として、HACにおいて特別塗装機を就航させるほか、機内誌「HAC MAGAZINE」などを通して「ウポポイ」やアイヌ文化について、北海道を訪れる国内外のお客さまや道民の皆さまへ紹介します。

JALはこれからも、グループ全体でさまざまなプロモーションを実施し、アイヌ文化の国内外への発信や北海道の観光振興など、地域活性化に向けて取り組んでまいります。

記

1. HAC「ウポポイ」特別塗装機の就航

アイヌ文化の創造と発展、伝統の継承に貢献できるようにとの想いを込めて、特別塗装機を順次就航させ、「ウポポイ」開設200日前の10月7日（月）以降は3機で運航します。

・対象機材：SAAB340B型機（機番 JA01HC、JA02HC、JA03HC）

・対象路線：HAC運航便全路線

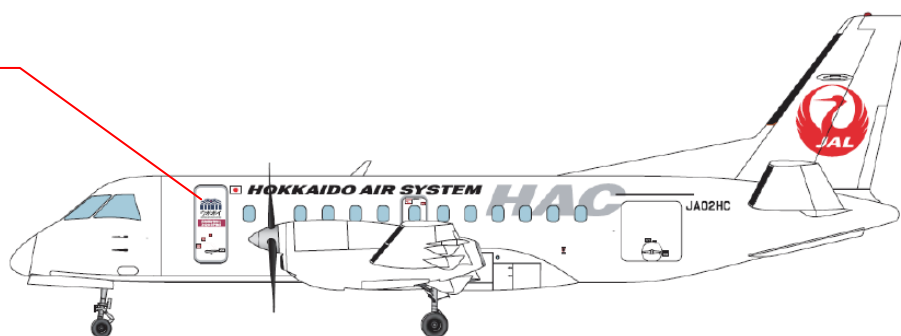
札幌（丘珠）＝利尻、釧路、函館、三沢（八戸）および函館＝奥尻

※機材計画や整備の状況により変更となる場合があります。



機体のドア部分に

ウポポイロゴマークを描きます。



イメージ

2. 未来につなぐ「HAC 若者の翼」プロジェクト

北海道の若者に北海道の新しい価値を感じ、深く理解してもらう旅のプランを募集する取り組みで、2019 年度は「アイヌの歴史・文化・伝承・ところに触れる旅」をテーマに募集しました。優秀賞に選ばれた 5 組には応募したテーマの旅を支援、実際に体験しレポートを提出いただき、2019 年度の最優秀賞を 10 月 4 日に決定しました。

最優秀者のレポートは HAC ホームページでご紹介、機内誌「HAC MAGAZINE」11-12 月号にレポートの概要を紹介します。

・最優秀賞

北見情報ビジネス専門学校 1 年生
宇野 利哉さん
「自転車でアイヌゆかりの地を巡る旅」



3. 機内誌「HAC MAGAZINE」、HAC Facebook での情報発信
ご搭乗のお客さま、Facebook ユーザーの皆さまへのプロモーションとして、「ウポポイ」の情報を掲載します。機内誌「HAC MAGAZINE」では、11-12 月号、1-2 月号、3-4 月号の 3 回にわたって掲載します。



イメージ

HACの取り組みに関する問い合わせ先

北海道エアシステム コーポレートコミュニケーション部

TEL : 011-769-0510 (平日09:00-18:00) / 080-1865-4650

以上